

本文

五ヶ瀬教育グランドビジョン

GOKASE Educational Grand Vision

～ 五ヶ瀬で生まれ 育ち 生き 五ヶ瀬を創造する人づくり～



五ヶ瀬町教育委員会
GOKASE Board of education

五ヶ瀬教育グランドビジョンの制定にあたって ～ 地域創造・循環型教育システムの創造 ～



宮崎県五ヶ瀬町は、豊かな自然に恵まれた山間の小さな町である。

子どもたちは、季節に応じて様々な表情を見せる町の豊かな自然の中、日々、元気いっぱい成長している。

また、町民の教育に対する思いも強く、「子どもたちの教育に関わろう！」「学校を自分たちで支えよう！」という意識も非常に高い。

さらに、子どもから大人まで、地域の伝統文化をはじめ、健康づくりや芸術などの催しに積極的に参加しており、地域を舞台にした3世代に渡る交流の機会も多い。

この10年、五ヶ瀬町の教育は、学校教育を中心とした「五ヶ瀬教育ビジョン」のもと、G授業をはじめとする先進的な取組で全国の注目を集めてきた。

しかし、Society5.0に向け、社会は変化のスピードを急激に増してきており、町のこれからの考えると、学校教育にとどまらない、町全体が結びつきを更に強めた取組を行っていく必要がある。

そこで、町の教育について、幼児からお年寄りまでが、生涯にわたって互いに関わり合いながら学び続けることのできる地域創造・循環型教育システム「五ヶ瀬教育グランドビジョン」を制定する。

これは、五ヶ瀬町民の思いを一つに、未来の五ヶ瀬を創造するものである。

令和元年5月1日告示 五ヶ瀬町教育長 猪野貴一

五ヶ瀬教育グランドビジョン

地域創造・循環型教育システムの創造



五ヶ瀬で生まれ 育ち 生き 五ヶ瀬を創造する人づくり

一人ひとりが生涯にわたって学び続けることのできる教育システム
「生涯学習マスタープラン」

- (1) 五ヶ瀬町家庭教育五ヶ条
- (2) 五ヶ瀬A.S.カリキュラム
- (3) 五ヶ瀬教育ビジョン
- (4) 五ヶ瀬人生充実プログラム

「学びを支える環境づくり」

- (1) 学校教育に関する環境整備
- (2) 生涯学習に関する環境整備
- (3) 社会体育に関する環境整備
- (4) 教職員の働きやすい環境づくり

学校教育・生涯学習・社会体育関連の環境整備及び働きやすい環境づくり

未来の五ヶ瀬を創造するため

生涯を通じて学ぶ機会の充実を図る

1 五ヶ瀬教育グランドビジョン

～五ヶ瀬で生まれ育ち生き 五ヶ瀬を創造する人づくり～



(1) 一人ひとりが生涯にわたって学び続けることのできる教育システム

五ヶ瀬町は、都市圏と比べると社会的条件や文化的条件においては格差が見られる。図書館・美術館・博物館等の文化的施設も整っていない現状がある。

一方で、保育・教育現場に視点をおくと、町立の保育所2園、小学校4校・中学校1校は、都市部と変わらない条件で設置されている。

これまで五ヶ瀬町は、一般的な中山間地における、少子高齢化・過疎化等の負の条件を「逆転の発想」で好条件と見なし、五ヶ瀬でこそ優位に展開できる教育システム「五ヶ瀬教育ビジョン」を推進していく中で、様々なシナジーを生み出してきた。

今回、五ヶ瀬教育ビジョンで生み出した、学校と地域との強固なつながりを基盤とし生み出してきた多くのシナジーで、五ヶ瀬町の教育をスケールアップさせ、幼児からお年寄りまでが生涯にわたって学び続けることのできる「五ヶ瀬生涯学習マスタープラン」を策定する。

これは、五ヶ瀬町民一人一人が自ら学ぶ意欲を高めつつ、各世代がつながりをもって、ともに未来の五ヶ瀬の創造に向けて成長していくものである。

1 五ヶ瀬教育グランドビジョン

～五ヶ瀬で生まれ育ち生き 五ヶ瀬を創造する人づくり～



(2) 学びを支える環境づくり

学校教育においては、子どもたちが安心して学校生活を過ごせるよう、また、災害時の緊急避難場所として機能できるよう、施設の補修・整備、維持管理を含め継続して力を入れていく。また、児童生徒が安心して登下校できるよう、通学路の安全確保に努めていく。さらに、教職員の働きやすい環境づくりについて、学校現場の声を大切にしながら改善を行っていく。

社会教育においては、生涯学習施設の整備及び適正運営を図っていく。また、図書館機能の充実と利用促進のため、工夫ある取り組みを行っていく。

社会体育施設の維持・管理においては、より多くの方に利用いただくため、利用者のニーズに合った施設環境の維持、整備の充実を図る。また、Gパークの芝生における養生期間を設置するなど、よりよい環境づくりに努める。

家庭教育においては、学校教育・社会教育を支える最も重要な人間形成の場としての認識を深めるとともに、子どもからお年寄りまで、家族みんなで学びふれあう機会の充実を図っていく。

2 五ヶ瀬生涯学習マスタープラン

～一人ひとりが生涯にわたって学び続けることのできる教育システム～



生涯学習マスタープランは、町民が幼児期から児童期、思春期、青年期、壮年期、そして円熟期へと人生を重ねていく中で、「高い教養や学力」「健やかでたくましい身体」「豊かな心や深い郷土愛」を育む機会をどのように創出していくかについて「つながり」を大切にまとめてきた計画である。

- (1) 五ヶ瀬町家庭教育五ヶ条
- (2) 五ヶ瀬A.S.カリキュラム
- (3) 五ヶ瀬教育ビジョン
- (4) 五ヶ瀬充実人生プログラム



2 五ヶ瀬生涯学習マスタープラン

～一人ひとりが生涯にわたって学び続けることのできる教育システム～



(1) 五ヶ瀬町家庭教育五ヶ条

家庭は、子どもにとって教育の基盤となる場である。子どもの健全な成長は、健全な家庭生活の上に成り立つものであり、充実した家庭教育から子どもの充実した学びは育まれる。

また、子どもの成長を支える大きな要因として、家庭を超えた地域の教育力がある。こと五ヶ瀬町においては、地域の未来である子どもを支え、見守り、育てていこうという思いが町民に深く根付いている。

五ヶ瀬町家庭教育五ヶ条は、家庭と地域が一体となって、将来の五ヶ瀬を支える人財を育てていく取組である。

具体的には、“早寝・早起き・朝大豆”をキャッチコピーに「元気なあいさつ」「質の良い睡眠」「家族のふれあい」「食育」「ノーメディア」の五つに取り組んでいく。



早寝・早起き・朝大豆



五ヶ瀬町家庭教育五ヶ条

- あ あいさつは 言葉でつなぐ 心の架け橋
- い 一日の 元気を充電 良い睡眠
- う 家読で 伝える感動 深まる絆
- え 笑顔でご飯 身体と心の エネルギー
- お 親子でチャレンジ ノーメディアデー

2 五ヶ瀬生涯学習マスタープラン

～一人ひとりが生涯にわたって学び続けることのできる教育システム～



(2) 五ヶ瀬A.S.カリキュラム

五ヶ瀬A.S.カリキュラムは、保育所から小学校への架け橋である。保育所年長（A:小学校へのアプローチ期）から小学校入学（S:小学校のスタート期）への接続を円滑にするため、保育所2園と小学校4校が協力し、子どもの発達や学びをつなぐ1つの保育・教育課程（A.S.カリキュラム）を作成する。

A.S.カリキュラムの作成に当たっては、子どもの発達や学びを「知識及び技能（の基礎）」「思考力、判断力、表現力等（の基礎）」「学びに向かう力、人間性等」の三本柱をもとに整理するとともに、本町教育の基盤となる「地域との関わり」及び「家庭との連携」の視点からも整理する。

五ヶ瀬A.S.カリキュラム

五ヶ瀬A.S.カリキュラム		通年で行う	時期を考慮して行う
保育所 アプローチ期		小学校 スタート期	
年長 前期	年長 中期	1年生 前期	1年生 後期
言葉や文字とふれあうあそび (読み聞かせ) * 自分読み 読みたあそび 書きあそび		言葉や文字の学習 五十音の習得 (音読) 短文づくり 読取 (漢字・カタカナ) (読み取り) 作文	
数・数量関係・図形とふれあうあそび 積みあそび カルンダー つまみ・工作 動かあそび カードゲーム かけ算		数・数量関係・図形の学習 数数 かけ算 たし算 ひき算 いちいちのちね (長さ・広さ・かさ)	
身近な事象から気づき・考え・予想し・工夫するあそび ごっこあそび ブロックあそび * なぞぞこ カルンダー・絵作		学習内容に対して気づき・考え・予想し・工夫する活動 問題解決の学び (算数の学び)	
様々な事象・現象から感じ・考えたことを個やグループ、集団の前で表現する活動 発表会・インタビュー 自己紹介 夢の発表		学習内容に対して気づき・考え・予想し・工夫する活動 スピーチタイム 発表発表 個人発表 行事発表	
やりとげる達成感を味わうことのできる活動 読書会・インタビュー 製作・ぬいぐるみ・遊戯 運動会 生活発表会		やりとげる達成感を味わうことのできる活動 地域行事参加 運動会 学習発表会	
集団・人間関係を意識したあそび かけ算 おにぎりゲーム ボールあそび ままごこ		任された役割を果たすことで自己肯定感・自己有用感を高める活動 自演活動 演劇 読書 発表会	
五ヶ瀬の自然や動物植物とふれあふ心が動く活動 散歩 観察づくり * 生きもののエサ作り		G授業等を通して五ヶ瀬の自然・季節を知る活動 散歩・観察づくり * 生きもののエサ作り	
身近な人から地域の方まで 自分から積極的にあいさつをする良さを味わう		G授業等を通して五ヶ瀬の自然・季節を知る活動 散歩・観察づくり * 生きもののエサ作り	
就学に向けた生活の構築 朝寝 早起き 朝大泣き		五ヶ瀬町家庭教育五ヶ瀬を中心とした連携 元気なあいさつ 賢い心・健康 家族のふれあい・家族 食育 ノーメディア	
特別支援教育支援委員会 小学校運動会への参加		新年度・小合同作業部会 研修会等の情報交換	

五ヶ瀬のひと・もの・こと、に自分なふれて、認知的能力と非認知的能力をバランス良く育んでいきましょう！

2 五ヶ瀬生涯学習マスタープラン

～一人ひとりが生涯にわたって学び続けることのできる教育システム～

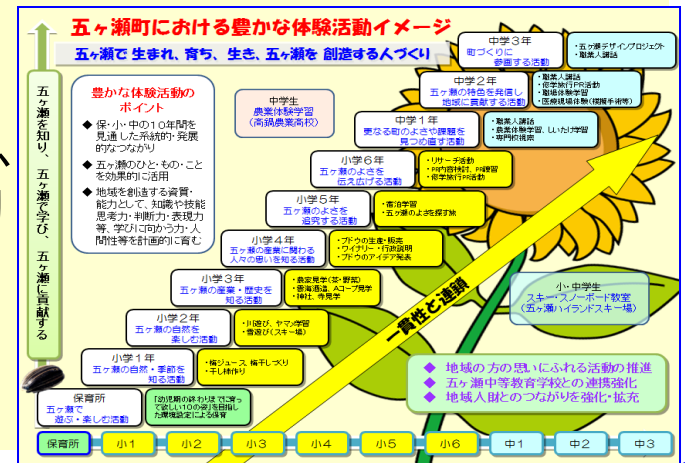


(3) 五ヶ瀬教育ビジョン

五ヶ瀬教育ビジョンは、「地域があって子どもがいて学校がある」という基本スタンスのもと、地域のひと・もの・ことを存分に取り入れた、小中で一貫性をもったカリキュラム「豊かな体験活動」を生み出し、各学校で「五ヶ瀬で生まれ、育ち、生き、五ヶ瀬を創造する人づくり」を目標に日々教育活動が行われている。

また、地域の方の学校を支えようという思いは、豊かな体験活動をはじめとする学習支援や学校環境の整備活動への協力といった行動となって表れており、子どもや教職員にとって、地域はまさに無くてはならない存在となっている。

これからの五ヶ瀬教育ビジョンは、地域とのつながりを更に強化していくとともに、21世紀型学力に対応すべく子どもの認知的能力と非認知的能力をバランス良く育み、Society5.0に向けた人財育成にスピード感をもって取り組んでいく。



2 五ヶ瀬生涯学習マスタープラン

～一人ひとりが生涯にわたって学び続けることのできる教育システム～



(4) 五ヶ瀬充実人生プログラム

五ヶ瀬充実人生プログラムは、町内の子どもから大人まで、各世代がつながりをもって文化芸術及びスポーツに親しむことのできる機会を創出するものである。

文化芸術は、創造力・感性を育成するとともに、豊かな人間性を涵養する。美術展等における作品鑑賞の機会を充実させるほか、自らの作品を出品できる機会も設けていく。

スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要不可欠である。

爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足を大切にしつつ、体力の向上や、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進を推進していく。

五ヶ瀬充実人生プログラム

- 五ヶ瀬町教育文化祭
- 創作クラフト展
- 五ヶ瀬町美術の祭典
- 各種芸術企画展

- 体力づくりバレーボール大会
- 体力づくりソフトボール大会
- フロアカーリング大会・教室
- ゆうやけトライアルin五ヶ瀬
- 町民駅伝競走大会
- 小学生ロードレース大会

3 学びを支える環境づくり

～ 学校教育・生涯学習・社会体育関連の環境整備及び働きやすい環境づくり ～



学校教育・生涯学習・社会体育等の各施設については、児童生徒、利用者の安心、安全を最優先に整備を進めるとともに、ニーズに応えるようサービス等も含めた環境面の充実に努めていく。

また、教職員の働きやすい環境づくりを推進するため、教育委員会と学校が連携し、より良い働き方について協議・実践していく。



- (1) 学校教育に関する環境整備
- (2) 生涯学習に関する環境整備
- (3) 社会体育に関する環境整備
- (4) 教職員の働きやすい環境づくり



3 学びを支える環境づくり

～ 学校教育・生涯学習・社会体育関連の環境整備及び働きやすい環境づくり ～



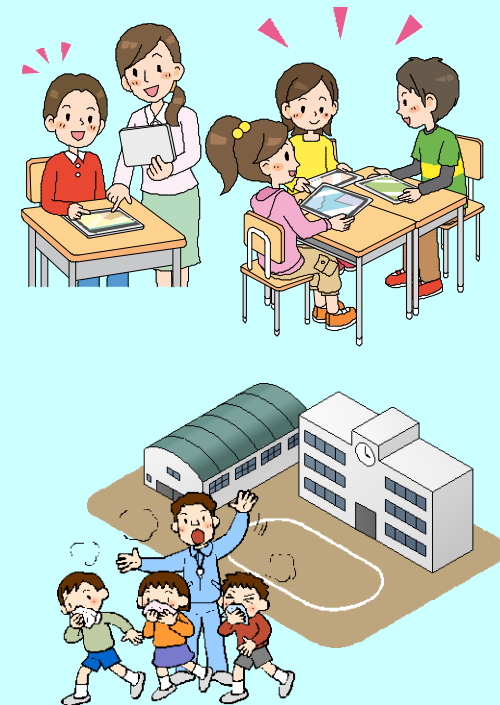
(1) 学校教育に関する環境整備

子どもたちが安心して学校生活を過ごせるよう学校施設の補修・整備・維持管理に努める。子どもたちの登下校については、関係機関やPTAと連携して通学路の安全点検を行うとともに、危険箇所については、迅速に措置を講じる。

授業環境については、教育内容の高度情報化に対応するICT環境をはじめ、必要な教材・教具等の計画的整備に努める。

緊急時における対応については、「学校における危機管理マニュアル作成の指針」を示し、各校で子どもや地域の実態に応じたマニュアルを作成して非常時に備えるとともに、年度毎に見直しを行う。

また、学校は災害等における指定避難施設にもなっていることから、緊急時における必要物資についても、段階的な整備に努めていく。



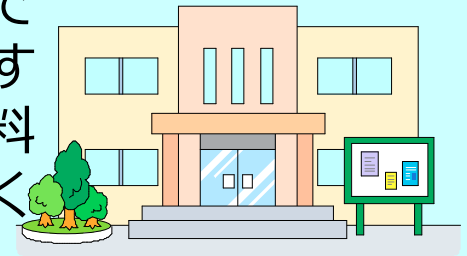
3 学びを支える環境づくり

～ 学校教育・生涯学習・社会体育関連の環境整備及び働きやすい環境づくり ～



(2) 生涯学習に関する環境整備

生涯学習施設は、町民にとって身近な学習拠点であるとともに、交流の場として重要な役割を果たすものであり、町内には、各公民館、自然の恵み資料館、荒踊の館、鞍岡地区複合型交流施設など、多くの生涯学習施設がある。



これらの施設は、地域住民にとって気軽に集える場であると同時に人間力の向上などを中心としたコミュニティ（地域社会）を実現する場となっており、今後も各公民館における自主的な社会教育活動を推進するとともに、生涯学習講座等については実施の支援を行っていく。



図書館機能の充実と利用促進については、町民のニーズに応じていくとともに、各地区のいきいきサロンに約150冊の本を持って運ぶ「移動図書館」の取組を実施し、読書の推進を図っていく。



3 学びを支える環境づくり

～ 学校教育・生涯学習・社会体育関連の環境整備及び働きやすい環境づくり ～



(3) 社会体育に関する環境整備

住民一人ひとりが元気で健康に暮らしていくため、子どもから高齢者までが自分に適した運動やスポーツを楽しむことができるよう、利用者のニーズを鑑みながら、五ヶ瀬町総合公園Gパークの施設環境整備に努める。全施設的に適宜修繕を行っていくことはもちろん、スポーツ広場・陸上競技場内においては、芝生の養生期間を設けるほか、五ヶ瀬ドーム内においてはトレーニング施設や各スポーツで使用する器具などの維持・修繕を行い、長期的な利用が可能となるように努めていく。

また、体育協会の活動を推奨し、各競技団体・組織等の組織強化・連携を強め、体育協会・各団体が一体となったスポーツ活動の普及・振興に努める。そのほか、スポーツ推進委員やコミュニティスポーツ推進員の確保・育成を充実し、資質の向上を図っていく。



3 学びを支える環境づくり

～ 学校教育・生涯学習・社会体育関連の環境整備及び働きやすい環境づくり ～



(4) 教職員の働きやすい環境づくり

学校における教職員の働き方改革は、教育委員会はもとより、家庭、地域等を含めた全ての関係者がそれぞれの課題意識に基づいて、教師という仕事の特性も考慮しつつ、その解決に向けて取り組んでいくことが必要である。

“子供のためであればどんな長時間勤務も良し”という働き方は、教師の崇高な使命感から生まれるものであるが、その中で教職員が疲弊していくのであれば、それは本当の意味で“子供のため”とはならない。



教職員の働き方を生活環境を含めて見直し、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、3つの視点を中心に教職員がより働きやすい環境を整備していく。

- ① 休暇を取得しやすい教育課程編成（含：学校閉庁日設定）
- ② 共同学校事務室「学校支援室」の戦略的機能充実
- ③ 教職員住宅の補修・整備

